

巻/頭/言

昇降機・ビルシステム特集に寄せて

Contribution to Special Issue on Elevators, Escalators
and Building Systems

森 日出樹

Hideki Mori



世界経済の緩やかな拡大が継続しているなか、世界の総人口は、高い経済成長を遂げている新興国を中心に増加し、それに伴い急速な都市化が進んでいます。国内では、東京2020オリンピック・パラリンピック開催、外国人旅行者増加に伴うインバウンド需要取り込みに向けて、建設投資が拡大しており、また、過去に設置された老朽化設備の更新需要も急速に拡大しています。

これらの国内外経済活動の拡大や都市化の進展には、一方で、エネルギー問題をはじめとした地球環境保全の問題に直面しており、国内では、少子高齢化社会の進行による人手不足など、社会構造変化の問題にも直面しています。また、犯罪やテロを未然に防ぎ、誰にでも優しい、安心・安全で快適な社会の実現に向けた、社会的な要請も高まっています。

三菱電機は、そのような社会情勢や要請に対して、三菱電機グループが持つ技術や製品などを通じて、健全な社会の発展に貢献していくことが求められています。

エネルギー問題につきましては、2008年に第34回主要国首脳会議(洞爺湖サミット)が開催され、国際エネルギー機関(IEA)から先進各国に対して、「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)」の取組み加速が求められました。これを受けて、日本でもZEBに対する取組みが本格化し、2014年4月にエネルギー基本計画が閣議決定されています。当社は、この動きに対して、経済産業省がZEB普及のために新設した制度である“ZEBプランナー”に、電機メーカーとして初めて登録され、ZEBに貢献する設備・システムを納入しています。

都市化の進展につきましては、ビルの高層化が進むなかで、昇降機は縦のビル内交通インフラとして欠かすことのできない設備になっています。当社は、超高速エレベーター

やダブルデッキエレベーターの開発、エレベーターの混雑を解消するための行先予報システムの開発などによって、ビル内交通の輸送効率向上を実現するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックを控えるなか、外国人や高齢者が安心・安全で快適に利用できるように、“おもてなし”をテーマとして、エレベーターかご室内の表示・アナウンスの4か国語ガイド(日本語、英語、中国語、韓国語)やカラーユニバーサルデザインなど、製品仕様の充実化を図っています。また、老朽化したエレベーター・エスカレーターに対しては、省エネルギーや安全性向上を実現するための改修工事メニューを充実化させ、工事期間の短縮や利用できない日をなくすなど、利用者の立場を第一に考えた工法も順次投入しています。

安心・安全な社会、地球環境への貢献につきましては、個人情報保護や企業機密管理強化などのセキュリティニーズの高まりや、2015年7月の「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(建築物省エネ法)」制定による、建築物の省エネルギー基準への適合義務化など、より高度なビル設備管理のニーズが高まっています。当社は、これらのニーズに対応するために、大規模ビルはもとより、人手不足がより深刻となっている中小規模ビルにも焦点を当て、初期導入コストの抑制や、クラウドサービスやスマートフォン活用などによる、設備運営管理業務の効率化に貢献するビルマネジメントシステムを提供しています。

今後、激しく変化していく社会環境で、昇降機やビルマネジメントシステム、それらを連携させたビルソリューションの役割は更に高まっていくと考えています。より良い社会の実現に向けて、ビルトータル視点に立った高度なソリューションの提供を通じて、社会貢献を進めていきます。